

自治体の紹介

背景

- 岡山県の北部、713年に美作国の国府がこの地に置かれて以来、美作地域の中心として発展
- 中心部の町並みは江戸時代初期に建設された城下町が基礎となっている
- 戦災にも遭わなかったことから、城跡や武家屋敷、商家町、寺院等が当時の面影を残したまま数多く残っている
- 津山城の東西2つの地区が国の重要伝統的建造物群保存地区に選定
- 市内にある津山遺産が、指定、未指定のものも含めると3,000を超える
- 「養生食い」習慣による牛肉食文化など、独特の地域文化が存在



現状の課題

- 人口減少を契機に、津山の歴史や文化など「津山の魅力」を知っている人材の減少により、地域の担い手が減っている。
- 建物の老朽化が進み、空き家や空き地が増加し、歴史的な町並み景観が損なわれている。
- 歴史や文化など、地域独自の遺産を残しつつしていくための財源の確保と経済的な方策が見いだせていない。



事業の目的

津山の歴史・文化、自然など、有形・無形の魅力である「津山遺産」を再認識し、未来に引き継ぐ！

事業内容

津山を「屋根のない博物館」と捉え、住民・民間事業者・行政が連携し、特色あるまちづくり施策を展開するため「津山まちじゅう博物館構想（仮称）」を策定

基本理念

津山の魅力を再発見し、未来を住民自らがデザインするまちづくり

基本方針

- ①津山遺産の再認識と発掘（意識づくり）
- ②まちじゅう博物館を担う人材の育成（人づくり）
- ③まちじゅう博物館のインフラ整備（土台づくり）
- ④人を呼び込む施策の展開（施策づくり）

令和5年度から事業実施

事業を進めるための機関として
市、関係機関、民間事業者等によるコンソーシアムを設立
※副業人材を含め、民間人材を複数登用予定



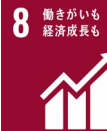
歴史的景観の整備



空き家等の活用



寺社巡りツアー



8 働きがいの
経済成長も



9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



10 人や国の不平等
をなくそう



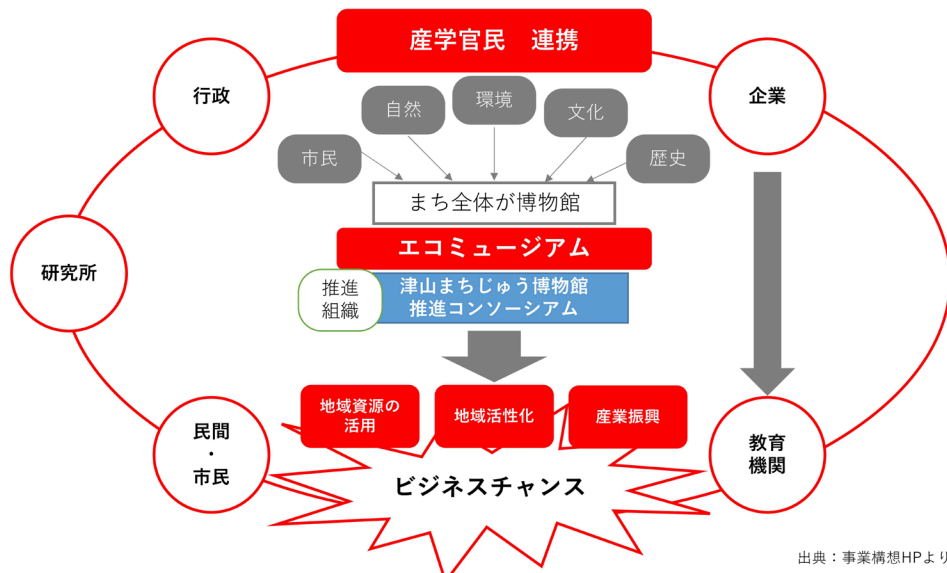
17 パートナーシップで
目標を達成しよう

得られる成果等

- 地域への関心向上による地域の担い手の増加
- 空き家・低未利用地の利活用と歴史的景観の整備
- 津山遺産の価値化と観光誘客等による地域消費額の増加
- 地域活動の活性化

寄附するメリット等

- 地域課題の解決に向けた取組を主体的に実施することが可能
※民間メンバーが裁量をもって実施できる事業予算を一部計上
- 地域課題解決するためのビジネス機会の創出



出典：事業構想HPより抜粋